

リンパ浮腫のケア 地域連携を

医療・介護従事者対象 釧路で22日セミナー



医療者らへの参加を呼びかける釧路孝仁
会リハビリテーション病院の原田院長
（中央）ら

釧路孝仁会リハビリテーション病院（原田英之院長）は、22日午前9時半から釧路アリスホテルで「リンパ浮腫診療連携セミナー」を開催する。医療や介護の従事者が対象で、リンパ浮腫の知識を深めて、地域医療の連携を目指す。

リンパ浮腫は、がん治療によるリンパ節の切除などによって

起こる手足のむくみ。症状が悪化する痛みや歩行困難、精神的苦痛などをもたらすが、早期に適切なケアをすることで治療経費や体への負担を抑えられる。

しかし、釧根管内では専門的な対応ができる病院は4カ所ほどと、患者数からみて足りないのが課題という。そこで、

釧根管内での診療体制を整え、地域の連携を図る第一歩として、医療や介護の従事者向けにセミナーを企画した。

講演会では、同院むくみ外来看護師の森美代子さん、北大病院婦人科の小林範子医師、日本リンパ浮腫治療学会理事長の小川佳宏医師が、リンパ浮腫の診断と治療のポイントや、慢性浮腫の病因と治療方針などについて講義する。

森さんは「医療や介護で患者さんに関わる人々に、基本的な理解を深めてもらえれば。そこから地域で連携し、市民向け講座の開催にもつながりたい」と話す。参加無料。オンラインでも開催する。会場、オンラインとも、13日までにQRコードから申し込む。問い合わせは同病院、電話0154・54・2500へ。



（中川麻衣子）

ど
ど
んと